



らぶっく La·BOOK

6月号
No.60

柳田邦男さん講演会

日時 7月9日(日)13時30分～
場所 穂高交流学習センターみらい
定員 200名(抽選・座席指定)
申込先 各図書館
申込期限 6月23日(金)まで

絵本は子どもたちだけのものじゃない
“大人こそ絵本を読もう”と提唱し続けて

いる柳田さんを迎え「生きる力、絵本の力～大人も子どもも心が育つ～」と題してお聞きます。

ノンフィクション作家で評論家の柳田さんは、絵本に秘められた深い文学性・芸術性を再発見して以来、エッセイや全国各地への講演行脚で語りかけ続けています。

中央図書館では、講演会の募集に合わせ、柳田さんがおすすめする絵本を紹介しています。



中央図書館柳田さんコーナー

絵本&落語ライブ

関西地方で大活躍されている“新・オバハン落語ユニット「三色団子」”が、ついに安曇野にやってきます。三色団子は、絵本作家として活躍されているあおきひろえさんと、女性の落語大会でNHK局長を受賞した天神亭美笑さんのユニット。

日時 7月8日(土)14時～
場所 堀金公民館会議室1
定員 120名(先着順)
入場料 500円(中学生以下無料)
申込先 あめんぼの会 中島さん
(090-4180-2952)

当日は、子どもでも楽しめる落語や絵本の読み聞かせ、パネルシアターなど盛りだくさんの内容で、子どもからお年寄りまでみんなが楽しめるライブです。



中央図書館ライブコーナー

明科図書館

奮闘!調べもの日記(レファレンス)

明科駅前の歌碑について

知りたい



明科駅前の交番入り口に歌碑があります。「としまねく都の春に待ちつけし燕来れり信濃明科」という歌が刻まれています。

この歌を詠んだのは、正岡子規に師事し、長塚節や斎藤茂吉らとともに活躍したアララギ派の歌人岡麓(おかふもと 本名:三郎 1877～1951年)です。

岡は、1945(昭和20)年4月に戦災著しい東京を逃れて家族とともに安曇野を訪れ、疎開先の会染村(現池田町)の家が整うまでの数週間を明科で過ごしました。この間、桜咲く光城山や犀川近くのれんげ田、龍門淵などを毎日のように散策し、明科の風物を数多く詠みました。

その後、妻と娘を病気で亡くし、自身も肺炎を繰り返して終戦後も過ごした会染で75歳で亡くなりました。今も「岡麓終焉の家」が残されています。

歌碑は、岡の弟子や明科の有志からなる「岡麓歌碑を建てる会」の尽力によって1976(昭和51)年に建立されました。

〈関係資料〉

- 『岡麓全歌集』 岡麓 1996年
- 『目で見える明科史』目で見える明科史発行委員会 1974年
- 『近代信濃歌人評伝』 神戸利郎 2007年
- 『近代短歌のふるさと』 信濃毎日新聞社 1965年

私と図書館

「図書館での楽しみ」

三郷中学校 柳澤 真衣

私は今年、図書委員長になったので、毎日学校の図書館に足を運んでいます。昨年度までは本を借りる時のみだったので、図書館の新たな発見があつて楽しく感じられています。

カウンターにいる時、本を読んでいる人の横顔を見ると、ふと笑みを浮かべたり、真剣な眼差しで読んだりする人を見かけます。

そんな表情を見ると、なぜか和やかな気持ちになります。また、お気に入りの作家の本を読んでいると、あたかもその場面に自分があるように感じて、本の世界に入りこむことができます。

図書館の楽しさは人それぞれにあると思います。それが、それらに気づくことが出来て良かったと思います。来年、近くに新たな図書館ができ、もっと図書館を訪れる機会が増えるので、これからもたくさん利用していきたいです。



5月貸出ランキング

一般書

- 1 火花／又吉直樹
- 2 九十歳。何がめでたい／佐藤愛子
- 3 雪煙チェイス／東野圭吾
- 4 か「」く「」し「」ご「」と「」／住野よる
- 5 カッコウの卵は誰のもの／東野圭吾
- 〃 三鬼／宮部みゆき
- 〃 人魚の眠る家／東野圭吾
- 〃 山女日記／湊かなえ
- 〃 ラプラスの魔女／東野圭吾
- 10 虚ろな十字架／東野圭吾
- 〃 希望荘／宮部みゆき 他多数

児童書

- 1 バムとケロのおかいもの／島田ゆか
- 2 バムとケロのそらのたび／島田ゆか
- 3 おばけのてんぷら／せなけいこ
- 〃 バムとケロのさむいあさ／島田ゆか
- 5 あっちゃんあがつく／みねよう
- 〃 おつきさまこんばんは／林明子
- 〃 おふとんかけたら／かがくいひろし
- 〃 おふろだいすき／松岡享子
- 〃 くだもの／平山和子
- 〃 くれよんのくろくん／なかやみわ 他多数

AV資料

- 1 スパイダーマン 3／サム・ライミ監督
- 2 ヒックとドラゴン2／ディーン・デュボア監督
- 〃 みんなのあつみの／安曇野市農業再生協議会
- 4 崖の上のポニョ／宮崎 駿監督
- 5 母べえ／山田洋次監督 他多数

中央図書館 休館のお知らせ

年1回の特別整理期間と休館日のため、6月12日(月)～19日(月)の8日間は休館しますので、ご理解とご協力をお願いします。



編集・発行・お問い合わせ



- | | |
|-------|----------|
| 中央図書館 | ☎84-0111 |
| 豊科図書館 | ☎71-4022 |
| 三郷図書館 | ☎76-3078 |
| 堀金図書館 | ☎72-3601 |
| 明科図書館 | ☎62-1122 |

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>

豊科図書館から

本のソムリエ(職員)おすすめ本

一般書

『安曇野風土記Ⅲ さくら サクラ 桜』

笹本正治／安曇野市教育委員会

表紙

安曇野市内のさくらを訪ね、その様々な表情を写真に収め、素晴らしさや見どころを文章にまとめてあります。もしかするとあなたの近所のさくらかも知れませんか?どうぞ手に取ってご覧ください。

このほかにも安曇野の風景や伝統が織り込まれた本もあります。「安曇野風土記Ⅰ 水で結ばれたふるさと」は、清らかな水の風景を写真と文章に、「安曇野風土記Ⅱ 祭りが結ぶふるさとの絆」は、伝統として残る祭りを写真と文章にしてあり、安曇野の素晴らしさを再発見できる内容になっています。

児童書

『主人公はいつも君』

ーメイク・ア・ウィッシュで

夢をかなえた子どもたちー

大野寿子／KADOKAWA

表紙

著者の大野寿子さんは「メイク・ア・ウィッシュ」という団体で病気の子どもの夢を叶えるお手伝いをしています。この本は「世界でいちばん大きなカブトムシに会いたい」や「自分の絵本を出版したい」など、様々な夢を叶えた子どもたちのお話です。夢には大きな力があり、子どもや周りの人たちを笑顔にしてくれます。夢を叶え、輝いている子どもたちの様子が伝わってくる本です。

※編集後記※

今年度も、中学生の職場体験が始まり、堀金中学校から3名が2日間来ました。

「お客様へのあいさつや応対、つまり気配りが必要」「基本的なマナーや態度が厳しい」「仕事をしている時は文句を言わない」と感じましたよつです。

生徒達は、大人の生き様を肌で感じとって成長していくものですね。

